

みんなとともに笑顔いっぱい — 「101」 新たなるステージへ —



みんなとともに



10月24日(土)の「清明フェスティバル」、25日(日)の「創立百周年記念式典」と保護者の皆様には大変お世話になりました。お陰様で「コロナ禍」の影響を受けていた2つの行事を終えることができました。特に、金曜日にあれほどの雨が降ったにもかかわらず開催できた「清明フェスティバル」は、正に“奇跡”です。“神風”ならぬ“清明風”で校庭が乾いたのだらうと思います。



「週末作文」のススメ その3

今回紹介するのは「2年生」の作文です。お題は、「おうちの人を紹介しよう」です。2回目の挑戦ですが、前回「三段落」にすることに気を付けていたことに加えて、今回はさらに「一つ目は」「二つ目は」などの“効果的な表現”にも気を配っていました。前回よりもレベルアップしていて、うれしく思いました。なお、日ごろ光のあたることの少ない「父親ネタ」から紹介する作文を選びました。ご了承を。

【お題「おうちの人をしょうかいしよう」】(2年生)

父親ネタ 7名 母親ネタ 14名 兄ネタ 3名 姉ネタ 4名 妹ネタ 1名 祖父ネタ 1名 祖母ネタ 2名

◇ 鈴木 英太

ぼくは、おとうさんのことをしょうかいします。

一つ目は、おとうさんの作ったチャーハンがおいしいです。なぜかという、テレビで出た作り方でいつも作っているからです。

二つ目は、おとうさんは、バスケットをやっています。なぜバスケットをはじめたかという、なかのよい友だちがバスケットをやっていたから入ったんだそうです。

おとうさんには、いっぱいすごいところがあるんだなあと思いました。

◇ 阿部 統真

ぼくは、おとうさんのことをしょうかいします。

まず、おとうさんは、りょうりがじょうずです。ぼくは、おとうさんのつくるたまごやきがすきです。おとうさんのたまごやきはやわらかくてあまいです。

そして、二つ目は、プラモデルをつくるのが上手です。おとうさんはプラモデルをきれいにくれます。きれいに色をぬれます。

三つ目は、おとうさんはカモチです。

おとうさんは、りょうりやプラモデルやカモチでテーブルを一人でもったりプラモデルをきれいににつくったりきれいに色をぬれるのですごいなと思いました。

◇ 五月女 蓮

おとうさんのすごいところが二つあります。

一つ目は、おとうさんはまいにち朝おきるのが早いです。りゅうは、よゆうをもってしごとに行くからです。

二つ目は、おとうさんが休まずしごとに行くことです。りゅうはぼくはかぜをひくと学校を休みますが、おとうさんは、休まずしごとに行くからです。

すこしさびしいけど、がんばってもらいたいです。しごとをがんばっているおとうさんは、かっこいいです。

【校長のつぶやき】 その48 「お迎えの車をどのように…」

「清明フェスティバル」が終わって子どもたちが帰った後に、地域の方からお叱りの電話がありました。相手の方は、自らの名前を名乗った上で、「子どもを迎えに来ている車が5~6台並んでいたが、見通しがわるくなり危険なのではないか」「横断歩道から5m以内は駐停車禁止となっている。交通法規に触れる車があり、横断歩道をわたる子どもの安全が保たれていないのではないか」「相手の車を優先させ道を譲ったのに、感謝の意を示さないのは常識としてどうなのか」といったことを話されました。

その方のお話もよく分かりますし、お迎えにくる保護者の方の気持ちも分かります。本校の校地内に駐車できる十分なスペースがあれば、すぐに解決できることなのですが、現状はご存じのとおりです。悩ましいところですが、電話をくださった方の話に耳を傾けていただくと、幸いに思います。